

令和5年度「一市町村民会議一運動」活動紹介

各務原市青少年育成市民会議

◆通学路ふれあい活動事業

①「通学路見まもり隊」

『できるときに できることを 楽しみながら』を合い言葉に、市内全小学校区で現在、1,490名もの方にご登録いただき、活動を行っていただいています。「通学路見まもり隊」は、平成16年4月（2004年4月）に発足し、令和6年度（2024年4月）には、20周年を迎えるまでの組織となりました。そうした地道な活動の継続により、『地域の子は、地域で守り育てる』という地域力の向上に大きく貢献している活動でもあります。



②「通学路見まもり隊対面式」・「通学路ふれあい交流会・感謝(お礼)の会」

年度の始めと終わりに、見まもり隊員と児童との対面式・交流会を各小学校と連携して実施しています。今年度は、新型コロナウイルス感染症も第5類へと移行し、対面での交流会を、体育館やグラウンドなどにおいて、実施しました。

また、「通学路ふれあい交流会・感謝(お礼)の会」においては、児童から、日頃お世話になっている見まもり隊員の方々へ、「児童代表より感謝の言葉」、「児童が作成した手紙やメダル」、「お礼の鉢植え」などが手渡され、心温まる交流をすることができました。

③「5年継続者への感謝状の贈呈」

見まもり隊員として、5年間継続して登録・活動していただいた91名の方に、市民会議から感謝状を贈呈させていただきました。見まもり隊員の方からは、「子どもたちの元気な挨拶や、何気ない会話が元気の源になっている。これからも、続けていきたい。」という素敵な思いをお聞きすることができ、こうした思いが、温かい地域の醸成に役立っていると感じています。



◆青少年社会参加促進事業

①「ふれコミ隊(ふれあいコミュニティー隊)」

本市では、市内全中学校において、「ふれコミ隊」を組織し、地域で開催される各種行事において、ボランティア活動を行っています。「ふれコミ」とは、【ふれあいコミュニティー】の略称で、幅広い人間関係を築きながら、地域でのふれあいを深めていくことを目的として、平成元年度（1989年4月）に発足し、今年度35年目となりました。

今年度は、新規加入生徒を含め、395名（小学生、高校生、大学生を含）が活動しています。

②「ふれコミの集い」

ふれコミ隊は、日頃は、各中学校区でボランティア活動を実施しています。そうした活動に加え、年間3回、市内全ふれコミ隊員に呼びかけ、他の中学校区の隊員との交流や指導者との交流を目的として、「ふれコミの集い」を実施しました。



ふれコミの集い③「パターゴルフ大会」